

## チャレンジ体験塾「きたの」体験学習

令和元年6月22日～23日

～夜須高原記念の森・夜須高原青少年自然の家にて～

久留米市北野町内の小学校4校から4・5年生17名が、1泊2日の体験学習に参加してくれました。まずは夜須高原記念の森にてアイスブレイクのあと、2班に分かれて樹木観察を実施。すべすべの木肌をなでたり、葉っぱの並び方がちょっとヘン?と何度も見直したり、赤い新葉が毛で覆われていることを虫眼鏡で確認したり、手を広げて木の周囲を測ってみたりと、フルに五感を使って樹木に触れて貰いました。展望台での「ヤッホー」は既に心得たもの。誰からともなく大声絶叫タイムに突入です。



樹木観察が終わると、夜のメインイベントに備えて歌や踊りの練習です。本番でのハードな展開を知ってか知らずか・・・、意気揚々とバスに乗り込み、自然の家へと移動です。

やがて日は傾き、キャンプファイヤーの始まりです。違う学校の子どもたちも、このころにはすっかり打ち解け、互いにふざけ

あうこともありました。間もなくあたりは暗くなり、火の神様の登場でクライマックスに達しました。選ばれた3人が分火を受け、気を合わせて点火です。

女性スタッフの体を張った早いテンポの激しい踊りや、大胆なフリにのせられ、子どもたちもいい動きです。やがて炎は下火となり落ち着きを取り戻したものの、その余韻は翌日まで続いていたようです。それもそのはず、二日目午前のネイチャークラフトに次いで、午後のゲームの会場が昨日盛り上がったキャンプファイヤー場だったからでしょう。口々にキャンプファイヤーの続きがしたいと言い出す始末。それは来年に持ち越そうとやり過ごしたものの、ここで灯した火が、子供たちの心の中にいつまでも灯っていることを願いつつ、来年の再会を約束して子供たちの帰りのバスを見送りました。 スタッフ：千種、出口、諸石（報告：諸石）

